

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

2020年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事



提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）
滋賀県蒲生郡竜王町薬師 1166

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

コマツキャブテック株式会社
代表取締役社長 坂東 誠司

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 ~~〔第20条第3項・第20条第4項・第22条第1項・第22条第2項において準用する同条例第20条第4項〕~~の規定に基づき、事業者行動計画を策定（~~変更~~）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	コマツキャブテック株式会社 代表取締役社長 竹之内 幸詞
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	滋賀県蒲生郡竜王町薬師 1166

1 事業所の概要

事業所の名称	コマツキャブテック株式会社					
事業所の所在地	滋賀県蒲生郡竜王町薬師 1166					
主たる事業	細分類番号	2	6	2	1	建設機械・鉱山機械製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

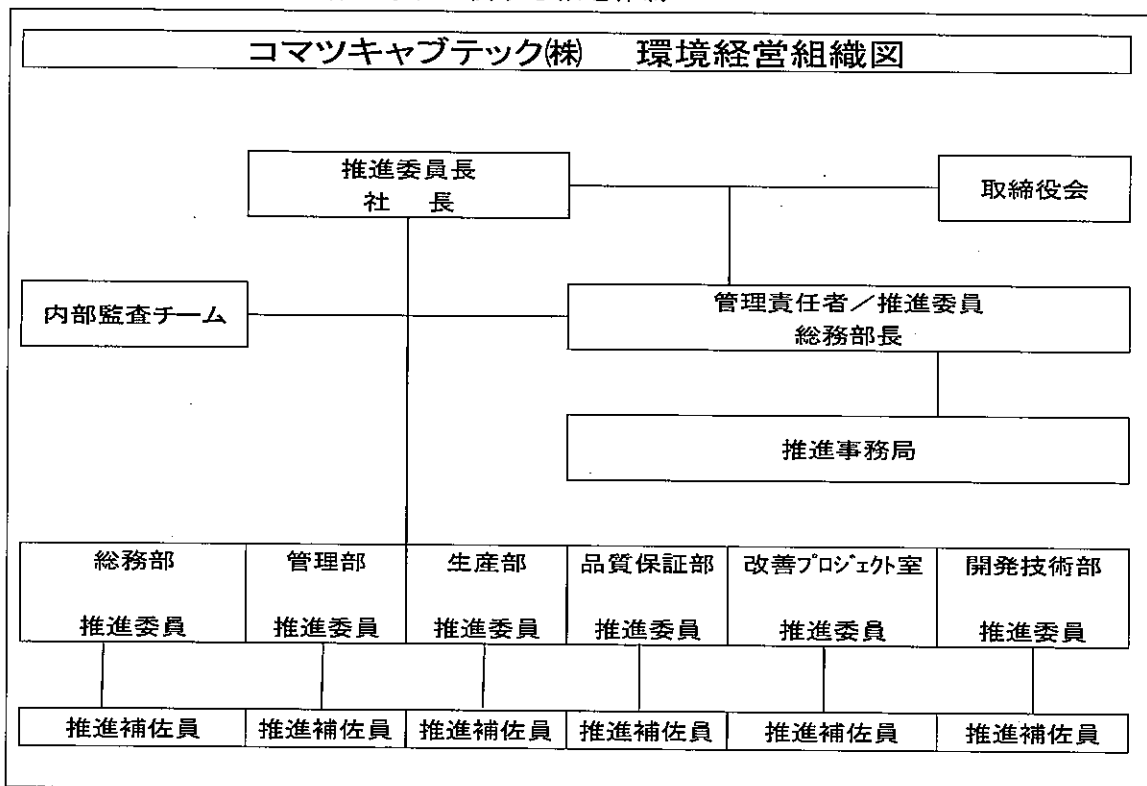
1 計画期間

計画期間	令和2年度～	平成5年度
------	--------	-------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

<p>1. 基本理念</p> <p>当社は、環境保全活動を経営の最優先課題の一つと位置付け、あらゆる事業活動において、先進の技術をもって環境保全に取り組み、人々の健康と豊かな社会の実現に貢献します。</p> <p>2. 基本方針</p> <p>① 当社はコマツ地球環境方針及びコマツ環境目的・目標に沿った環境目標を設定し妥当性を毎年見直すとともに、環境保全の継続的改善と環境汚染の予防に努めます。</p> <p>② 製品及びサービスの、性質、規模及び環境影響に対して地球環境を考慮した省エネルギー活動を行うとともに、生産性を向上し、あらゆる無駄を排除します。</p> <p>③ 地球環境に考慮した省資源活動を行い、資源の有効利用と産業廃棄物の発生量削減に努めます。</p> <p>④ 環境に関する法令、協定その他の要求事項を遵守し、企業としての責任を果たします。</p> <p>⑤ この方針を全従業員に充分理解させるとともに、広く一般に情報公開します。</p>
--

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

1. 「無駄の削減」省エネ活動を実施。

- ① 各休憩時間の作業停止時の現場照明消灯
- ② 夜間、休日の工場圧縮エアーを各現場毎にバルブ閉
- ③ 生産設備のエアー漏れ削減を実施(ISO14001活動)
- ④ 事務所エアコンの冷房設定温度を適正な温度で運用
- ⑤ 生産時の無駄作業の削減

2. 設備の効率化を実施

- ① エアーコンプレッサーの集約・台数制御の実施
- ② エアーコンプレッサーのインバータ仕様への更新
- ③ 蛍光灯器具(事務所・防犯灯等)のLED器具への更新
- ④ 工場建替え時に高天井照明器具を高効率なものを採用
- ⑤ 工場建屋に採光装置を採用して、照明を調光制御して電力削減
- ⑥ 事務所・建屋エアコンを高効率なものに更新
- ⑦ 変電設備の高圧変圧器を低損失仕様のものに更新
- ⑧ レーザー設備の老朽更新に伴い 高効率レーザー設備導入

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入	照明器具更新の際 LED 照明器具を採用	令和2年～5年
2	設備導入	生産設備更新の際 省電力生産設備を採用	令和2年～5年
3	設備導入	事務所等のエアコンを高効率なものに更新	令和2年～5年
4	設備導入	塗装ライン更新に伴う 電力量削減	令和2年～5年
5	設備導入	変電設備の高圧変圧器を低損失仕様の物に更新	令和2年～5年
6	運用	設備（攪拌装置・ポンプ・換気扇等）の連続運転を見直しによる電力量削減	令和2年～5年

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

現在、省エネ法の削減目標（原単位・年1%）で温室効果ガス排出量の削減活動を実施しています。

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

- ・ 当社は小松製作所製建設機械の運転席(CAB)の生産を担っていることから、ハイブリッド建設機械の生産にも寄与していることとなります。今後も CAB 生産を通じて低炭素社会づくりに貢献していきたいと考えています。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

- ・ 今後もハイブリッド建設機械用の CAB を積極的に受注していきます。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により 達成しようとする目標	実施スケジュール
1	3Rの推進	廃棄物の分別、再利用化を推進し、リサイクル率90%以上の維持を目標とします。	令和2年～5年
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			